



日本寺ニュースレター



Nipponji news letter

2025年7月号
(公財) 国際仏教興隆協会

お釈迦さま入滅2569年ブッダジャヤンティ



お釈迦さまの誕生、成道、涅槃を祝うブッダジャヤンティ (Buddha Jayanti) は毎年インド暦のウェーサカ月の満月に行われます。お釈迦さまが入滅されて2569年となる今年のブッダジャヤンティは2025年5月12日でした。お釈迦さまがお悟りになられた地、ブッダガヤの大菩提寺では大塔管理委員会主催による式典が開催され、世界中から大勢の仏教徒が集まりました。今年はタイの在家信者の方が施主をお勤めになられました。

大菩提寺ではビハール州知事や来賓が臨席し、各国の比丘・僧侶による法要が勤められました。日本寺からは元駐在僧の番地章夫師、萩原良賢師、花岡正覚師が参列し、日本仏教代表として誦経しました。

午後6時に行われた大菩提寺での法要では比丘・僧侶らによって2569本のローソクが灯されました。

日本寺元駐在僧・西山浄土宗西岸寺 萩原良賢

2025年5月8日、羽田発デリー行きの飛行機に乗り、インドへと向かった。エコノミークラスの為、約10時間の飛行機の旅は少々しんどい。5月のインドは1年の内で最も暑い時期となり、最高気温45度近くまでなる日も多い。そんな酷暑のインドへなぜ向かったのかというと、ブッダガヤの世界遺産大菩提寺（大塔）で5月12日に行われるブッダジャヤンティに出席する為である。「ジャヤンティ」とは、簡単に言うと「誕生日」という意味で、ブッダジャヤンティとは、「お釈迦さんのお誕生日会」である。お釈迦さんご自身は、2569年前、お亡くなりになられている為、お誕生日会に顔を出される事はない。その「ご本人不在のお誕生日会」に出席する為に、快適な日本を抜け出し、エコノミークラスで、約10時間、飛行機に揺られ、酷暑のインドへと向かった訳である。我ながら正気の沙汰じゃない。



私自身は、約10年前、駐在僧として日本寺に、2年間、駐在させて頂いた。ご存知の通り、日本寺は日本仏教宗派・宗門の垣根を越えたお寺なので、共に駐在僧として、お寺の維持・管理・運営を行っています。駐在当時、先輩に浄土宗の番地さん他、浄土真宗、真言宗の僧侶と菩提樹学園の教諭1名がおられました。駐在僧としてのインドでの悪戦苦闘の日々を、大変懐かしく思います。私は、駐在が終わった後、数年に一度、インドを訪れる程度でしたが、先輩の番地さんは、毎年、ブッダジャヤンティ等の大塔の行事に参加される為、年に数回、インドにいられておられました。尊敬します。その番地さんに誘われ、私もブッダジャヤンティに参加するご縁を頂く事となった訳です。

さてブッダジャヤンティ当日、朝は比較的涼しいものの、日中は40度を超える暑さとなりました。朝7時、日本寺の裏手から大塔まで、行列を作って練り歩き、お釈迦さんが悟りを開かれた菩提樹のそばに集まり、座りました。政府関係者や来賓の挨拶・講演等があり、その後、上座部やチベット、日本、



ベトナム等の読経が行われ、11時頃からサンガダーナ（僧侶への食事供養）があり、食事を頂いて、散会となりました。ブッダジャヤンティで行われる挨拶や講演等、ほとんどが英語で行われる為、私の英語力では、ほとんど理解できません。ときどき、英単語が拾えて、「あ〜、あんな事言っているんだなあ」位です。ですから、私にとって、そのほとんどの時間が、暑く、流れる汗を拭いている、正座している足が痛い、ただ、それだけの時間です。正直、辛くて「なんで今年も来ちゃったかなあ」と後悔もしました。じゃあ、なぜ、わざわざブッダガヤのブッダジャヤンティに行くのか。「先輩の番地さんに誘われたから」です。勿論、それが一番の理由なのです。日本寺に駐在させてもらい、僧侶として沢山の事を学ばせて頂きました。ほぼ毎日、大塔に行き、菩提樹の下、お釈迦さんが悟りを開いた場所、金剛宝座にお参りに行きました。私が駐在していた時は、まだ世界遺産に登録される前でしたので、今の様な厳重な警備はなく、素朴で、四方八方、どこからでも大塔、菩提樹、金剛宝座の近くまで行けました。



今から約2600年前、ブッダガヤの菩提樹の下で、お釈迦さんが悟りを開き、仏教が始まりました。お釈迦さんの教えは、ブッダガヤからインド全域に広がり、言語・文化を超えて、国を超えて、海を超えて、世界中に伝わり、沢山の人の悩み・苦しみを救ってきただけです。私もお釈迦さんに救われた、沢山の事を教えてもらった一人です。お釈迦さんの事を、とても尊敬しております。大好きです。ブッダジャヤンティは、お釈迦さんの教えの恩恵を受けている、

小野大使、祓川長官、日本寺に来訪

当協会参与 佐藤雅彦

去る4月10日、駐インド特命全権大使の小野啓一氏、並びに観光庁長官の祓川直也氏、川上将弘一等書記官、斎藤隆太二等書記官らご一行が日本寺を表敬訪問くださいました。

前年、日本寺竺主である北河原公敬猯下がデリーの日本大使館を表敬訪問されたことによる返礼の意味もありましたが、世界遺産である釈尊成道の聖地・ブッダガヤを、日本人巡礼者や観光の人々が発展的に訪問され、受け入れていくことを願う、日本政府の姿勢が強く感じられる訪問でした。

小雨の降る中、到着してすぐに、日本寺境内の広大な敷地に感銘され、梵鐘や宝篋印塔を拝観されて、ご本堂へ。読経の中、本尊である釈尊像に手を合わされ、焼香いただきました。また会館の応接間でスタッフにねぎらいの言葉をおかけいただき、現状など意見交換を行いました。菩提樹学園の広い園舎や庭に、子供たちが日本仏教保育協会や全日本仏教婦人連盟の支援によってなされていることに感服され、労いと励ましの言葉をいただきました。

その夜は近隣ホテルで、大使主催の懇談会が催され、地元日経企業や、現地関係の僧侶らも参加し、情報交換や交流を深めました。

日本寺のあるビハール州の州都パトナ市からドビー市を結ぶ国道整備に日本が協力していることもあり、今後さらにブッダガヤを訪れる人々の増加を願い、広い境内や様々な施設をもつ日本寺に、日本文化の発信拠点、インドにおける日本人コミュニティの精神性を支えるシンボルとなってほしいとの期待が寄せられていることを、強く感じるものでした。



左から祓川長官・佐藤・小野大使・川上一等書記官

事務総長の交代

佐藤雅彦事務総長が2025年6月19日付で理事ならびに事務総長を辞任いたしました。これを受け、各役員会に於いて選任後、当協会総務局長逸見道郎が理事ならびに事務総長に、佐藤雅彦は参与に就任いたしましたことをご報告申し上げます。

退任のご挨拶

9年間勤めさせていただいた事務総長を、今般退任いたします。日本寺開山52年、財団運営57年が経過し、日本寺を取り巻く社会環境は新たな基礎固めや発展を求められる領域に入っています。その対処のみではなく、グローバルな社会に発信していくためには、スピード感のある運営が求められる段階となってきました。逸見新総長を中心とするスタッフは国際的な経験をもつ、現在、日本の仏教界の代表たちです。安心して引継ぎをさせていただきます。ここまで賜りました厚情に深く感謝し、これからも日本寺ともどもよろしくご指導のほどをお願い申し上げ、退任の謝辞とさせていただきます。



佐藤雅彦

就任のご挨拶

この度、事務方の責任役を引き受けする事になりました逸見道郎でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、日本寺の諸堂宇の建設、また全日仏婦による医療奉仕のお姿など、黎明期から多くの先達のご苦労された後ろ姿を、身近で学ばせて頂きました。顧みますと当法人は、戦後インド政府より、日本政府がブッダガヤの復興を懇請され、全日仏と共にその実務を担い、その願いの中に日本寺は、日本仏教徒の総本山となりました。

さて、現在世界は、紛争・飢餓・環境問題など、混迷の真っ只中に喘いでいます。人々の釈尊に教えを求める声は日増に大きくなっています。当法人の責務は甚大であります。おささえ下さい、宜しくお願い申し上げます。



逸見道郎

健やかな体 穏やかな心を育む

菩提樹学園の園児の健康管理や保健指導は光明施療院の活動で担われています。園児たち健やかに成長できるよう日々努めています。

爪はいつも清潔に

菩提樹学園では先生が定期的に園児の爪を切りを行い、いつも爪を清潔に保つよう教育しています。衛生観念が低い家庭環境で育っている子どもたちが多く、菩提樹学園では、入園してまず食事の前に手を洗うことを習います。インドは食事は手を使って食べるため、手洗いや爪を短く清潔に保つことが特に重要となります。

2025年1月、この日は園庭で爪切りが行われました。それぞれクラスごとに列になって順番に爪を切ってもらいました。



年1回の健康診断

毎年4月に園児の健康診断が実施されます。診断を行うのはマガダ医科大学小児科部長を勤め、現在はガヤ市内で医院を経営するベテラン医師のカラン氏です。カラン医師は菩提樹学園での健康診断を30年以上担当くださっています。今年は2025年4月24日に年少・年長組全園児の健康診断が菩提樹学園園舎内の光明施療院で実施されました。同伴の保護者から聞き取りをしながら視診・触診・聴診を行い、ソバー先生が記録をしていきます。



診断を行った80名のうち33名に食欲不振、腹痛、耳漏などの症状がみられました。中でも食欲不振が16名と最も多く、昨年同様の結果となりました。また食欲がないため、低体重の園児もみられました。

今回、食欲不振の症状の改善のためにカラン医師から2種類の酵素シロップが処方されました。ひとつは消化不良の改善・食欲増進を促す食前用の「Aristozyme Liquid」です。そしてもうひとつは食後に飲むためのインドの伝統医療アーユルヴェーダに基づく成分が配合されたもので食欲の刺激と免疫力を高める「Aptivate」です。いずれも小さな子どもが飲みやすいパイナップル風味で、給食の食前・食後の30分に園児に服用させることを始めました。継続して飲むことによって症状のあった園児たちの多くは、給食をしっかりと喜んで食べるようになりました。



世界中のお弟子さんや仏教徒、僧俗共に、「始まりの地」であるブッダガヤに集まり、「お釈迦さんの誕生日」を一緒にお祝いするんです。お釈迦さん（ブッダジャヤンティ）がなければ、仏教という素晴らしい教えは無く、私達の世界の幸せも無いんです。ブッダジャヤンティの奇跡を思うと不思議な気持ちになりますし、感謝の想いが体からこみ上げます。ありがとう、お釈迦さん。サンキューブッダ。そのブッダジャヤンティが、毎年5月の満月の日に開催されます。先輩か

ら「行くぞ!」と言われれば、行くしかないでしょう。5月16日、無事、羽田空港へ帰って来ました。日本は涼しく、とても快適です。

さて、来年のブッダジャヤンティ。勿論、行きますが、あの暑さと環境を思うとうんざりしますし、また、それと同時に参加できる喜びがあります。来年はどんな出会いがあるのか、楽しみでもあります。また、お釈迦さんに会える。合掌

本堂でお祝いブッダジャヤンティ

菩提樹学園でも年中行事のひとつとして、日本寺本堂で園児がひとりずつお誕生仏に合掌の後、甘茶を注ぎ、ブッダジャヤンティのお祝いをします。

年少組の園児は初めての儀式にすこし緊張した様子がみられました。

その後、先生からお釈迦さま一代記を聞き、この日のために描かれた絵をみんなで鑑賞しました。年少組は「菩提樹」と「蝶々」を、年長組は「お誕生仏」と「ひまわり」の絵を制作しました。



休み中も学習を忘れないでね

ブッダガヤが一年で最も暑くなる5月から6月にかけては菩提樹学園は夏休みに入ります。2025年5月21日修業式が境内の講堂で行われ、6月22日まで夏休みに入りました。修業式は保護者も参加して行われ、皆で合掌しご本尊様へ「ののさまプジャ(礼拝)」から始まります。先生から園児には、1ヶ月の夏休み中に出された宿題についての説明、保護者には子どもたちの学習の習慣を忘れさせないようにと説明がありました。式の終了後、教室で各園児の名前が

書かれたヒンディー語学習や算数などの夏休み用の宿題ノートが配られました。

毎年夏休み終了後、菩提樹学園での毎日の学びで培った学習の習慣を忘れてしまっている園児が数名いることが先生方の悩みのタネです。どうすれば1ヶ月の間自宅での学習を続けられるか、宿題の出し方など先生方が工夫を凝らしています。



大阪市	濱田友子
大東市	古川真照
東大阪市	川口敏子
和泉市	山本淳一
兵庫県	
神戸市	神戸ダイトク(株)
神戸市	真言宗須磨寺派
神戸市	滝澤功治
神戸市	磯村幹夫
宝塚市	田中 智
奈良県	
奈良市	中 篤 大
奈良市	三 嶋 誠
奈良市	飯田二昭
奈良市	帯解寺
奈良市	笹尾正道
奈良市	野原祐子
奈良市	山崎英治
天理市	吉田明美
大和郡山市	藤川保雄
斑鳩町	中宮寺
平群町	千手院
和歌山県	
橋本市	横田行子
鳥取県	
出雲市	一畑寺
益田市	松本祐二
三朝町	米田陽子
岡山県	
久米南町	浄土院
山口県	
周南市	大野恭史
愛媛県	
松山市	寺川勲雄
福岡県	
太宰府市	石田琳彰
豊前市	明德寺
佐賀県	
基山町	吉祥寺
長崎県	
長崎市	別府節子
佐世保市	壽福寺

一般寄付・現地志納

……………10万円以上……………	
北海道	
札幌市	三浦光孝
宮城県	
塩竈市	東園寺

東京都	
杉並区	観泉寺
港区	梅窓院
……………	
宮城県	
石巻市	樋口伸生
埼玉県	
さいたま市	河野亮仙
所沢市	林恵智子
東京都	
港区	山内弾正
港区	雨宮慎一
台東区	千手院
墨田区	大森寿美
江戸川区	明福寺
江東区	安孫子虔悦
渋谷区	(公社)全日本 仏教婦人連盟
……………	
豊島区	遠藤陽三
神奈川県	
横浜市	安藤久仁夫
横浜市	見光寺
横浜市	鳥居孝順
横須賀市	逸見道郎
石川県	
金沢市	吉井 清
福井県	
永平寺町	大本山永平寺
静岡県	
静岡市	中村康雅
浜松市	法光院
愛知県	
名古屋市	勝崎幸夫
春日井市	小澤宗幹
滋賀県	
草津市	寺澤岳司
京都府	
京都市	大本山清浄華院
京都市	飯田実雄
南丹市	教伝寺
精華町	平松和子
大阪府	
八尾市	楠田ゆかり
和泉市	山本淳一
兵庫県	
神戸市	高木英舟
奈良県	
奈良市	長谷圭子
奈良市	北河原公慈
奈良市	村上美紀子

三郷町	植野忠治
その他	
薬師寺参拝団	
須磨寺参拝団	
菩提樹学園	
……………	
北海道	
札幌市	山下勝司
茨城県	
取手市	(社福)共生保育園
栃木県	
佐野市	小林慧舜
栃木市	近龍寺
東京都	
葛飾区	滝沢幹雄
江東区	子安一宏
大田区	善永寺
渋谷区	石崎千枝子
目黒区	有岡靖子
目黒区	澤 利明
世田谷区	千葉真知子
府中市	山本晴康
小平市	泉蔵院
昭島市	竹口甲三
神奈川県	
横浜市	安養寺
綾瀬市	船崎 裕
新潟県	
柏崎市	飯塚真弓
長野県	
松本市	小笠原隆元
塩尻市	堀内文紀
愛知県	
豊田市	村山称月
三重県	
紀北町	橋本武彦
滋賀県	
甲賀市	宮本浩次
甲賀市	宮本典子
京都府	
京都市	細見昌代
京都市	小西淳子
京都市	総本山妙満寺
長岡京市	乗願寺
木津川市	ボーレン敬芳
大阪府	
大阪市	辻村恵子
吹田市	江崎道子
東大阪市	善村文瑞
兵庫県	
宝塚市	田中 智

奈良県	
奈良市	中川恵子
奈良市	山崎英治
平群町	小野博子
高知県	
高知市	山下まき
長崎県	
長崎市	別府節子
沖縄県	
沖縄市	宮内 豊

光明施療院

……………10万円以上……………

東京都	
渋谷区	(公社)全日本 仏教婦人連盟
……………	
茨城県	
取手市	本多俊実
取手市	本願寺
栃木県	
佐野市	小林慧舜
栃木市	近龍寺
千葉県	
柏市	佐々木利夫
東京都	
港区	伝える力研究所(株)
文京区	永瀬富士子
北区	寿徳寺
葛飾区	滝沢幹雄
江東区	子安一宏
大田区	佐藤美帆子
世田谷区	千葉真知子
府中市	山本晴康
小平市	泉蔵院
昭島市	竹口甲三
神奈川県	
小田原市	天利俊元

長野県	
松本市	小笠原隆元
松本市	荻須眞教
塩尻市	堀内文紀
静岡県	
三島市	高橋久義
磐田市	大鐘敦子
愛知県	
豊田市	村山称月
知多市	大崎 保
滋賀県	
甲賀市	宮本浩次
甲賀市	宮本典子

京都府	
京都市	細見昌代
京都市	番地章夫
京都市	小西淳子
京都市	総本山妙満寺
大阪府	
大阪市	板東 義雄
東大阪市	善村文瑞
羽曳野市	祝原圭子
堺市	川上初枝

兵庫県	
宝塚市	田中 智
奈良市	中川恵子
奈良市	三 嶋 誠
奈良市	山崎英治
平群町	小野博子
鳥取県	
三朝町	米田陽子
高知県	
高知市	山下まき
長崎県	
長崎市	別府節子

仏教学東洋学研究所図書館

東京都	
北区	寿徳寺
練馬区	寿福寺
長野県	
松本市	小笠原隆元
松本市	荻須眞教
岐阜県	
岐阜市	教徳寺
京都府	
京都市	番地章夫
奈良県	
奈良市	矢野朋子

リサイクル募金

埼玉県	
入間市	嵯峨野(株)
東京都	
墨田区	大森寿美
三鷹市	耀 英一
大阪府	
八尾市	末永 宏
和泉市	山本淳一
奈良県	
奈良市	吉川起代子
奈良市	齊藤正幸
王寺町	福井昭典

ご芳名の掲示・感謝状の拝呈について

ご寄付を賜りました方々のへの感謝の意を表しまして、1万円以上のご寄付下さった方のご芳名を各施設に掲示させていただきます。また、10万円以上のご寄付くださった方に「感謝状」を拝呈させていただきます。



役員会報告

第39回理事会：2025年2月26日（決議事項）2025年度事業計画案承認/2025年度収支予算案・資金調達及び設備投資の見込みについて承認/仁期満了に伴う顧問・参与選任

第40回理事会：2025年5月21日（決議事項）2024年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書、財産目録に承認/定時評議員会招集

第41回理事会：2025年7月9日（決議事項）事務総長の選任、逸見道郎を事務総長に選任/参与1名の選任、佐藤雅彦を選任

評議員選定委員会：2025年5月21日

（決議事項）評議員日比野郁皓氏辞任による評議員1名の補充、ならびに新任1名の選任、古澤勝浩氏・佐藤良文氏を選任

第18回評議員会：2025年6月21日

（決議事項）2025年度貸借対照表、正味財産増減計算書およびこれらの附属明細 財産目録について承認/佐藤雅彦理事辞任を受け逸見道郎（当会総務局長）を理事に選任

上記全て当協会事務局会議室/Zoomミーティングルームで開催いたしました。

2024年度事業報告書・財務諸表（決算書）は当協会Webサイトに掲載しております。ご覧いただけますようお願いいたします。

尚、郵送をご希望の方は事務局までお申し付けください。

参与・顧問（第39回理事会で選任）
〔任期：2025年4月1日～2027年3月31〕（敬称略）

参 与		
久我儼昭	浄土宗西山禅林寺派 管長	重任
五條良知	総本山金峯山寺 管長	重任
田中孝之	孝道山本仏殿 法務部部长	重任
戸松義晴	心光院 住職	重任
藤田隆乗	大本山川崎大師平間寺 貫首	重任
横山照泰	延暦寺 長膺	重任
和田めぐみ	立正佼成会 総務部長	重任

顧 問		
上村貞郎	真言宗泉涌寺派 管長	重任
桶屋良祐	念法真教 燈主	重任
小澤憲珠	（公社）日本仏教保育協会 名誉会長 ・大本山増上寺 法主	新任
熊野隆規	立正佼成会 理事長	新任
小林正道	大本山増上寺 執事長	重任
杉谷義純	妙法院門跡 門主	重任
田中昭徳	金龍山浅草寺 貫首	重任
常磐井慈裕	真宗高田派 法主	重任
東伏見具子	（公社）全日本仏教婦人連盟 会長	新任
南澤道人	大本山永平寺 貫首	重任
山川宗玄	臨済宗妙心寺派 管長	新任
山田一眞	金剛院 名誉住職	重任

ご志納者ご芳名 皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。敬称略（2024. 12/1～2025. 3/31まで）

………100万円以上………	
一般寄付	
東京都	（公社）全日本
渋谷区	仏教婦人連盟
立川市	真如苑
奈良県	
奈良市	大本山薬師寺

護持会費	
………10万円以上………	
岩手県	
盛岡市	櫻井澄男
宮城県	
松島町	瑞巖寺
東京都	
千代田区	神田寺
港区	松岡茂喜
三鷹市	耀 英一
八王子市	金剛院
山梨県	
身延町	久遠寺
………	
北海道	
札幌市	山下勝司
岩手県	
盛岡市	永泉寺
花巻市	廣隆寺
宮城県	
仙台市	清野幸雄

仙台市	桃源院
塩竈市	東海林良昌
福島県	
いわき市	小野道雄
取手市	（社福）法人共生保育園
取手市	本願寺
栃木県	
佐野市	小林慧舜
栃木市	近龍寺
群馬県	
太田市	長念寺
桐生市	淨運寺
埼玉県	
さいたま市	石井ゆう子
さいたま市	上村正剛
草加市	西願寺
草加市	小野塚純二
川越市	笠松猷一
所沢市	金乗院
千葉県	
千葉市	光明寺
市川市	大久保均
船橋市	菅野秀浩
成田市	成田山新勝寺
東京都	
台東区	天王寺
台東区	清光寺
文京区	佐藤良文
文京区	（株）はせがわ
文京区	真言宗豊山派宗務所

北区	寿徳寺
荒川区	泊船軒
足立区	西門寺
葛飾区	金蓮院
江東区	雲光院
江東区	眞尾 茂
品川区	ペマギャルポ
大田区	善永寺
大田区	妙安寺
目黒区	澤 利明
世田谷区	千葉真知子
世田谷区	妙壽寺
世田谷区	駒澤大学高等学校
新宿区	西光庵
新宿区	真清浄寺
中野区	宝仙寺
杉並区	光明院
板橋区	平井和成
練馬区	田中成明
練馬区	寿福寺
小平市	泉蔵院
小平市	岡野 昭
東村山市	朝木宗佑
八王子市	山田チエ子
町田市	養運寺
昭島市	竹口甲三
東大和市	三光院
神奈川県	
川崎市	教安寺
川崎市	熊坂 正

川崎市	熊坂加代子
横浜市	良忠寺
横浜市	安養寺
横浜市	宣正寺
鎌倉市	臨済宗円覚寺派
鎌倉市	大本山光明寺
伊勢原市	大宝寺
長野県	
長野市	徳田節子
上田市	大輪寺
松本市	小笠原隆元
松本市	荻須眞教
松本市	全久院
塩尻市	興龍寺
塩尻市	興龍寺護持会
岐阜県	
高山市	大下大圓
静岡県	
三島市	蓮馨寺
富士市	八木やち代
静岡市	中村雅美
焼津市	教念寺
愛知県	
名古屋市	山岸赳夫
名古屋市	藤田 澈
豊田市	村山称月
犬山市	寂光院
南知多町	萩原賢良
三重県	
津市	常磐井慈裕

松阪市	樹敬寺
滋賀県	
大津市	園城寺
大津市	西福寺
大津市	横山照泰
大津市	雲住寺
野洲市	木邊頭磨
甲賀市	宮本浩次
甲賀市	宮本典子
草津市	佐々木昭道
京都府	
京都市	細見昌代
京都市	番地章夫
京都市	鞍馬寺
京都市	岸野亮淳
京都市	（一社）京都仏教会
京都市	妙林寺
京都市	（株）安藤
京都市	総本山妙満寺
京都市	賀茂御祖神社
京都市	中村文峰
京都市	南禅寺
京都市	白藤雅一
京都市	則竹秀南
城陽市	北尾順彦
長岡京市	乗願寺
大阪府	
大阪市	真言宗国分寺派
大阪市	稲垣佳子
大阪市	井桁雄弘



❀ ご支援のお願い ❀



当協会ではインド・ブッダガヤでの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持会員、並びに菩提樹学園、光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。「お釈迦様の聖跡を護る」活動や「ブッダガヤの子どもたちの明るい未来」のために、どうか皆さまの温かいご支援をいただきたくお願い申し上げます。

◆ 護持会員のご案内 ◆

年会費 個人会員:5,000円 法人会員:10,000円 維持会員:100,000円(いずれも1口以上)

◆ ヒューマンサポートプログラムのご案内 ◆

・菩提樹学園年間ペアレントメンバー:10,000円 ・光明施療院サポート:10,000円

・園児1人の文具代3,000円

・1クラス(35名)分の給食代1,000円

プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。

Webサイトからクレジットカードでのご寄付も可能です。



▽郵便振替▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

▽銀行振込▽ 三菱UFJ銀行 中目黒支店 普通預金 0127885 公益財団法人国際仏教興隆協会

(公財)国際仏教興隆協会へのご寄付・会費は、 税制上の優遇措置の対象となります。

【個人様の場合】

「税額控除」又は「所得控除」の対象となります。

【法人様の場合】

損金算入が認められます。

遺言による
ご寄付

香典・御花料
からのご寄付

相続による
ご寄付



これらのご寄付には相続税がかかりません
詳しくはwebサイトをご確認ください

写経会・ご自宅写経のご案内

写経会へのご参加は、事前ご予約をお願いいたします。

また、ご自宅でお写経していただけるセットをお送りしております。HPには、法要、法話を掲載しております。どうぞご活用ください。

一文字ずつお経を書き写すことは、心の安らぎにつながります。

写経は、お釈迦様お悟りの地、ブッダガヤ大菩提寺での納経奉告後、日本寺に奉納申し上げます。

【写経会】2025年8月8日、9月5日、10月10日、11月7日、12月12日
月1回金曜日開催 18:00~20:00

【場所】祐天寺【納経料】2,000円(写経会・ご自宅写経共)

【お申込み】事務局まで、メール・お電話にてお申込みください。



(公財) 国際仏教興隆協会

Webサイト <https://www.ibba.jp/> 随時更新中!

印度山日本寺

検索



@indo_nipponji



ibbajp

フェイスブック・Xも更新中



事務局より

日本寺ではご参拝時に本堂でご法要をお勤めいただけます。その際は、事前に下記事務所までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

〒153-0061

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail: jimukyoku@ibba.jp

<https://www.ibba.jp/>